

みらい つた ごてんばし しぜん  
未来に伝える御殿場市の自然



れいわ ねん がつさくせい  
令和8年3月作成

ごてんばし しぜんかんきょう とくちょう  
御殿場市の自然環境の特徴ってなんだろう？



ふじさん とはこねがいりんざん のふもとに位置する御殿場市の自然環境は、大きく5つの生態系に分けて捉えることができます。

- ①木が育たず火山灰がむき出しとなっている火山荒原域から森林限界より下の亜高山域
- ②ブナなどの落葉広葉樹林、またはスギなどを植林した森林域 (天然林・人工林)
- ③ススキ草原が大きく広がる草原域
- ④水田や畑、ため池のある田園地域、里地、池沼
- ⑤住宅や商店などがある市街地

どの環境もわたしたちの生活の身近にあり、その環境にしか生息しない生きものも生息している大切な財産です。今回、市内で活動している方達が確認した生きものの一部を生息環境ごとにまとめました。



かざんこうげんいきからあこうざんいきせいぞくせいいくい  
火山荒原域から亜高山域に生息・生育する生きもの



ミヤマハナワラビ



ヒメハナワラビ



ヒメムヨウラン



ヤナギタンポポ



アリドオシラン



イワスゲ



ムラサキモメンツル



ヒメイワカガミ



シャクジョウソウ



ベニバナイチヤクソウ



イワヒバリ



ルリビタキ



しんりんいき 森林域 (天然林・人工林) に生息・生育する生きもの



ハコネラン



ネズミサシ



エビネ



キンラン



セッコク



ムカゴネコノメソウ



ヒメクロサナエ



オジロサナエ



オナガサナエ



タカネトンボ



アカゲラ



クロツグミ



そうげん せいぞく せいいく  
草原に生息・生育する生きもの



ベニバナヤマシャクヤク



オキナグサ



ヒナノキンチャク



フジタイゲキ



マイサギソウ



タヌキマメ



ヤマトキシソウ



ヤマジソ



バアソブ



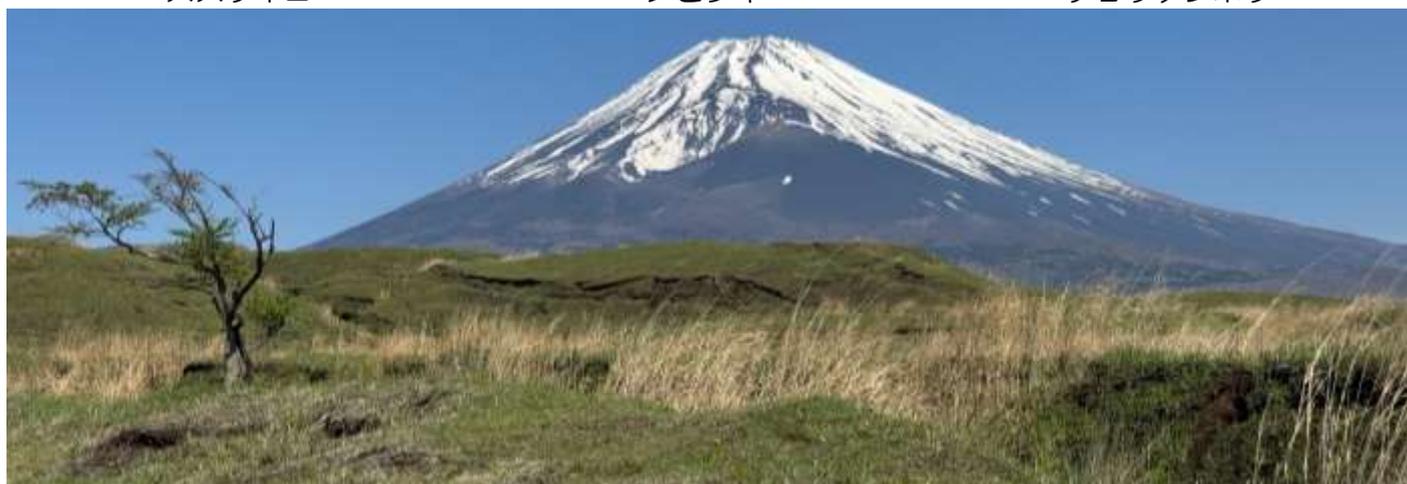
スズサイコ



ノビタキ



チョウゲンボウ



でんえんちいき 田園地域、 さとち 里地、 ちしょう 池沼に生息・せいぞく 生育する生きもの



ミズニラ



フッキソウ



マネキグサ



タテヤマギク



ヒメシロネ



オツネントンボ



ホソミオツネントンボ



モートンイトンボ



ルリボシヤンマ



ヒメアカネ



アマサギ



メジロ



# 御殿場市の取組

御殿場市における絶滅の危機に瀕する野生生物のうち、植物・昆虫類(トンボ類)については、既存文献調査及び2021年から2025年にかけて本市及び民間団体が実施した現地調査結果を根拠として、絶滅の可能性についてカテゴリー区分を行い、御殿場市レッドリストを作成し、その生息または生育状況等をまとめた御殿場市版レッドデータブックを策定しました。

また、淡水魚類については、既存文献調査及び一部河川において現地調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類(トンボ類以外)、陸・淡水産貝類の6分類群は既存文献調査を行い、野生生物目録を作成しました。詳しくは、御殿場市版レッドデータブック令和7年度版をご覧ください。



レッドデータブックに掲載した生きもの



文献調査により目録を作成した生きもの

写真提供者：元常葉大学非常勤講師 加須屋 真  
 NPO法人富士山ホシガラスの会 勝又 幸宣  
 NPO法人富士山ホシガラスの会 石川 美智子  
 NPO法人富士山ホシガラスの会 菅 常雄



ヤマシャクヤクと富士山



ブナ林の木漏れ日



フジアザミ



ヒメウツギ

市の鳥 クロツグミ



御殿場市版  
レッドデータブック

問い合わせ  
御殿場市役所環境課  
電話：0550-83-1603